

ぬまた 市議会だより

第64号

12月定例会

令和4年
2月1日

沼田市成人式

祝 成人
門出祝い晴れやかに



新しい沼田へ

内容 子ども議会
12月定例会 など



沼田市議会HP

令和4年 沼田市成人式



快晴に恵まれた1月9日、成人式が開催され、395人の新成人が参加しました。

新成人の皆さんおめでとうございます。

今回は、新成人の皆さんに政治への関心などを伺いました。



新成人に聴く

〈成人式インタビュー〉

〈政治に対する興味、関心は〉

- ・正直言ってあまりない。
- ・詳しくはないけれど、もう少し関心を持ちたいと思う。
- ・選挙の投票等、身近なところから政治に関わる機会を大切にしたい。

〈市議会についてどう思うか〉

- ・自分の故郷が活性化することを期待します。
- ・よく分からない。
- ・もっと働ける場所を増やしてほしい。
- ・沼田のために頑張ってほしい。
- 〈これから挑戦したいことは〉
- ・やりたいことを見つけたい。
- ・就職に向けて頑張りたい。
- ・将来の夢のため頑張りたい。
- ・とにかく色々挑戦したい。

インタビューにご協力いただきありがとうございました。
夢と希望を持ってこれからも頑張ってください。

編集委員一同

12月 定例会

12月定例会は、11月30日に開会し、12月10日までの11日間、条例の制定・改正、令和3年度補正予算、人権擁護委員の推薦など計18件と、議会からの請願書1件を審議しました。

また、11人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

沼田市過疎地域

持続的発展計画を策定

利根町区域の振興を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「沼田市過疎地域持続的発展計画」が策定されました。

「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月31日に時限を迎え、新たに過疎地域の持続的発展に関する施策を総合かつ計画的に推進する「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が同年4月1日に制定されたためです。



吹割の滝（利根町）

沼田市企業版

ふるさと応援基金を設置

「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」の財源に充て、地域再生を総合的かつ効果的に推進するため、企業版ふるさと納税を財源とする基金の設置を議決しました。

『企業版ふるさと納税』とは：企業が自治体に寄付をすると税負担が軽減される制度で、正式な名称は『地方創生応援税制』といえます。自治体の実施する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に企業が寄付をすると、寄付額の約3割が税額控除される仕組みです。地方創生、人口減少克服といった課題に対応するため、地方自治体が行う地方創生事業に企業が寄付を行うことで、地域を活性化する狙いがあります。

令和3年度補正予算

国・県支出金の確定などにより既決の予算に増減を生じるもの及び緊急に措置しなければならぬものなどに限定し、8億6,596万円の追加補正予算を議決しました。

主な内容は、自治総合センター

コミュニティ助成金の追加、包括管理施設修繕料の追加、介護給付費・訓練等給付費・障害児給付費の追加、民間保育所入所委託料及び施設型給付費の追加、新型コロナウイルススワクチン接種委託料の追加、ごみ減量化処理委託料の追加、佐山最終処分場管理事務所等解体撤去工事費の減額、鳥獣対策事業費補助金の追加、イベント開催中止による委託料及び負担金の減額、電子地域通貨事業業務委託料の追加及び発行負担金の減額、急傾斜地対策の県工事に対する負担金の追加、埋蔵文化財調査センター設置実施設計委託料の追加、集中豪雨による被災箇所への復旧修繕料の追加などです。

人事案件

・人権擁護委員の推薦（諮問）
霜下恵子氏

常任委員会

請願1件を趣旨採択

民生福祉常任委員会にて「安心・安全の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るため、国に対する意見書を求める請願」の審査を行いました。

請願内容は、感染症病床や医師・看護師等の不足に対する、人員増加や労働環境改善等、安全・安心な医療・介護・福祉提供体制の確保と75歳以上の窓口負担2倍化の中止などを求める意見書の提出です。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療・介護・福祉体制の確保と充実、大きな課題であると委員全員が認識しています。

しかし、社会保障・社会福祉財源確保は、保育所などを含む社会保障全体の課題として検討していく必要があり、また、75歳以上の窓口負担も、国の政策などを注視していく必要があるといった意見が出され、賛成多数で「趣旨採択すべきもの」となり、本会議において「趣旨採択」と決しました。

市政を問う！

一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを問うのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

中村 浩二	持続可能なまちづくり
三ツ石岩男	コロナ第6波、指定管理制度、中心市街地
高柳 勝巳	委託路線の新システム 街なか再生の方向性
大東 宣之	市有温泉施設、過疎計画、沼高・沼女の統合
井上 弘	子育て支援のデジタル化を推進
井之川博幸	福祉灯油の実施、子育て支援、街なか再生
桑原 敏彦	デジタル田園都市構想で沼田市の活性化を
金子 浩隆	2期8年の人口減少対策と地方創生
高山 敏也	子育て支援、希望の溢れる高校新設のために
星野 妙子	沼高・沼女統合へのロードマップ
島田 康弘	人口増のためのまちづくりを

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

持続可能なまちづくり

中村 浩二



ていきたいと考えています。

◎沼田市過疎地域持続的発展計画(利根町)の推進について伺います。

▲利根町区域の特長をいかした「自立的で持続可能なまちづくり」を目指すために、過疎対策事業債など有利な財源を活用しながら、各事業を計画的に推進していきます。

◎合併特例債充当事業等の効果の検証について伺います。

▲合併特例債の対象事業は、合併市町村が建設計画に基づいて行う事業であり、これまでに実施した事業による施設は多くの方々に利用されていますので、合併特例債充当事業として十分な効果が得られているものと考

◎令和4年度当初予算編成の方針について伺います。
 ▲令和4年度においては、「コロナを越えてく未来につなぐ持続可能なまちづくり」をキーワードに、市民生活の安定と向上に資する施策の充実を図ることを基本方針として予算編成を進めています。
 ◎市債等の軽減及び今後の推計について伺います。
 ▲市債が担う財政負担の平準化と世代間の負担の公平化という役割を念頭に、適正な市債発行と市債残高の縮減に努めたいと考えています。
 ◎合併後の新市の一体化の醸成について、白沢町・利根町のコミュニティによるまちづくりの推進について伺います。
 ▲白沢町・利根町については、利南・池田・薄根・川田の4地区におけるモデル事業を参考とし、白沢・利根地区のコミュニティセンターを中心に、まずは、地域づくりへの気運醸成を図っ



地域づくりの拠点である白沢地区コミュニティセンター

コロナ第6波、指定管理制度、中心市街地

三ツ石 岩男



【Q】新型コロナウイルス第6波に向けた沼田市の対応について伺います。

【A】ワクチン接種費用の一部を助成し、インフルエンザの予防接種を推進しています。

また、健康観察資材として、パルスオキシメーターや体温計等を準備するとともに、3回目となる新型コロナウイルスワクチンの接種を適切に実施するため、準備を進めています。

【Q】これからの指定管理制度をどのように進めていくか伺います。

【A】本市の人口減少など、喫緊の



委託路線の新システム 街なか再生の方向性

高柳 勝巳



【Q】新たな沼田市の公共交通は、デマンドの趣旨を活かして、これまでの事業提供者の側から運営してきた手法から、利用者目線の移動支援としていくことを切望してきております。

その具体的検討内容と周知や説明方法など、「新たな交通システム」をどう軌道に乗せていく考えかお聞かせください。

【A】利用者のニーズに応じて柔軟に運行するデマンドバスの運行は、買物弱者に移動手段を提供するものとして、課題解決に有効であり、広報紙やホームページはもとより、住民説明会において、その利便性をアピールしていきます。

一方、買物支援策として、宅配、買物代行、移動販売等も有効であり、公共交通施策との関連に留意しながら、民間事業者及び住民と相互に連携し、様々な取り組みを進めることが必要と考えています。

【Q】中央公民館の跡地を含め旧市

役所通りと本町通りを南北に貫く「歩行を基盤」として「新たな公共スペースの構築」によって中心市街地再生を促していく事が望ましいと考えますが、基本的な考え方を伺います。

【A】5街区に計画されている公益的施設用地は、市役所庁舎の移転、中央公民館の解体等、周辺の状況も当初に計画した当時とは変化をしてきています。

市街地活性化を図る上で、人の流れは重要な要素ですので、旧市役所通りと本町通りを結び、歩行を基盤とした新たな公共スペースの構築について、検討を進めていきたいと考えています。



居心地の良い歩きたくなる街路
(東京 丸の内仲通り)

一般質問

市有温泉施設、過疎計画、沼高・沼女の統合

大東 宣之



【Q】望郷の湯、しゃくなげの湯の施設の状態はどのようなになっているのか伺います。

【A】望郷の湯が築27年、しゃくなげの湯が築20年を経過し、建物や設備の老朽化が進んでいることから、それに伴う修繕箇所も増えてきています。

【Q】望郷の湯、しゃくなげの湯について今後どのような対応をしていくのか伺います。

【A】施設の老朽化への対応について、公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、優先順位をつけた計画的な改修を実施していきたいと考えています。

【Q】過疎計画でのこれまでの取組と評価についてどのように考えているのか伺います。

【A】過疎対策事業債など有効な財源の活用を図りながら、各種事業を計画的に推進してきました。事業費ベースの決算では、平成28年度からの5年間で、約70%の進捗であり、利根町区域の振興に当たり、一定の成果を上げる



望郷の湯(上)しゃくなげの湯(下)



ことができたと考えています。

【Q】持続可能な地域づくりにどのように取り組むのか伺います。

【A】都市部とは異なる過疎地域の魅力と可能性を再認識しながら、各種事業の推進を図り、利根町区域の特長をいかした「自立的で持続可能なまちづくり」を目指していきたいと考えています。

【Q】沼高・沼女の統合についての情報提供、不安の払拭にどのように取り組むのか伺います。

【A】正確な情報伝達が不安の払拭に繋がると考えていますので、沼高・沼女の統合の動向については、引き続き注視していききたいと考えています。

子育て支援のデジタル化を推進

井上 弘



【Q】デジタル化により子育て支援をより充実させていくことは社会的要望でもあり、デジタル化を早期に進め、支援の充実を図るべきだと考えます。電子母子手帳導入への考えを伺います。

【A】必要な情報の入手や予防接種のスケジュール管理などの利点がある反面、情報管理の問題や記録内容・データ形式が自治体間で異なり、継続性に欠けるなどの問題もあることから、他自治体の情報収集に努め、サービス向上のため、研究していききたいと考えています。

【Q】行政のデジタル化を進めていく上で、デジタル機器の扱いに不慣れた市民に対してどのような対策をしていくのか伺います。

【A】不慣れた市民を置き去りにすることがないように、また、習熟度による差が発生しないよう、丁寧に施策を進めていくことが、デジタル化において配慮すべき点であると考えています。

【Q】校則の意義やあるべき姿とい

った観点から質問をしたいと思っています。市内各小中学校で校則またはそれに類するものはあるのか教育長に伺います。

【A】校則は、児童生徒が健全な学校生活を営み、よりよく成長していくための学習上、生活上の指針として、学校で定められているものです。市内小中学校では、「生活のきまり」「生活指針」などと呼ばれています。

【Q】重い荷物を持ち学校へ通う小学生の健康問題についてどうお考えか教育長に伺います。

【A】健康問題につながる懸念があるという認識のもと、通学上の負担や実態を考慮して児童生徒の携行品の重さや量について検討し、必要に応じ適切な対応を講じるよう指示しました。



市政を問う!!

福祉灯油の実施、子育て支援、街なか再生

井之川 博幸



デジタル田園都市構想で沼田市の活性化を

桑原 敏彦



Q 原油高騰への緊急対策として、福祉灯油実施について伺います。

A 国の対策の動向を注視していきたいと考えています。

Q 施設園芸等農業への原油高騰対策について伺います。

A 利根沼田農業協同組合をはじめ関係機関と連携し、把握に努めていきたいと考えています。

Q 子どもの減少による保育行政への対応と新生児の出生数増加への取組について伺います。

A 今後の公立保育園の在り方について検討を行っているところです。また、環境づくりが必要であると考えており、妊娠期から子育て期にわたる総合的な支援を行うなど、出生数の増加に努めています。

Q 保育料や副食費の完全無償化とそれをめざす取組について伺います。

A 国や県に対して全国一律の無償化に向け、継続した要望活動も行っており、今後も調査研究を行っていると考えています。

Q 学校給食費の完全無償化とそれをめざす取組について教育長に伺います。

A 一部市町村においても実施しており、本市においても財政部門と協議するなど、引き続き検討していきます。

Q 「街なか居住」の推進についての具体的な対応を行っているのか伺います。

A 中心市街地活性化の観点から、今後も検討を続けていきます。

Q 中心市街地土地地区画整理事業の中止について伺います。

A 未だみち半ばでありますので、将来を見すえ、関係地権者と協議を進め、早期事業完了に向け推進していきます。



整備が進む上之町



整備が進まない中町

Q デジタル田園都市構想は、地域の暮らしや社会、教育、研究開発、産業や経済を変革し、大都市の利便性と地域の豊かさを融合し、デジタル化、人材育成、過疎地域の活性化につなげるために重要な施策です。まず、過疎化が進む利根地域でのドローン物流の構築について伺います。

A DX（デジタル・トランスフォーメーション）施策に係る国や県の動向を注視していきたいと考えています。

Q 過疎地域におけるMaaS（マース）等を活用した自家用有償旅客運送について伺います。

A 公共交通の空白地帯には、自家用有償旅客運送や住民の互助輸送等を活用し、公共交通を確保しなければなりません。マースにより、利便性向上や高付加価値化を図ることが重要と考えています。

Q デジタル技術の活用により地域の個性を活かしながら、大都市から企業や人流を起こし、地

方の活性化を目指す政策は沼田市にとって最大のチャンスです。やるべき事は、市民・企業と話し合い、デジタル田園都市構想プロジェクトを作り上げること、企業版ふるさと納税を広く周知し、資金等の基盤の確立を進め、てんぐーの次の取り組みとなる、共助面で地域内の経済循環を確立していくべきです。

官民連携による沼田市デジタル田園都市構想の必要性と地域経済の発展について伺います。

A 沼田市が目指す未来の姿を描き、デジタル田園都市構想策定には、官民連携も言めた検討が有効であると考えています。地域経済の発展に向け、市内事業者とのパートナーシップを大切にしていきたいと考えています。



一般質問

2期8年の人口減少対策と地方創生

金子 浩隆



【Q】県統計局発表の令和3年11月1日現在の沼田市の人口は4万4,735人。

1年で580人減少し、新型コロナウイルス感染症で地元経済が疲弊する中、人口減少に歯止めがかかりません。

市長2期8年の任期を振り返って、人口減少対策はどう行われ、功を奏した施策は何と何だったとお考えか伺います。

【A】市長就任の年である平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、本市においても、平成27年に「第1期沼田市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、各種施策を実施してきました。

令和2年3月には、第2期総合戦略を策定し、「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「ひとが集う、安心して暮らすこと

ができる魅力的な地域をつくる」などを目標に、地方創生を推進しています。

地方創生は、中長期の人口の推移など、次の世代やその次の世代の危機感を共有して取り組むべき息の長い政策であり、人口減少に歯止めをかける「積極的戦略」とともに、人口減少に際して効率的・効果的な社会システムを再構築する「調整戦略」も併せて推進しなければなりません。

総合戦略総体として一定の成果があったと考えていますが、引き続き、安定した雇用の創出により転出を抑制し、転入の促進を図っていききたいと考えています。



子育て支援、希望の溢れる高校新設のために

高山 敏也



【Q】市における養育費履行確保に向けた支援について伺います。

【A】養育費の確保については、県母子寡婦福祉協議会や群馬司法書士会等で行っている養育費相談を案内しています。可能な限り必要な支援を行っていききたいと考えています。

【Q】厚生労働省が掲げる「養育費等支援事業」に対する当市の取組について伺います。

【A】先進事例における運営方法等を調査するなど、研究を行っていききたいと考えています。

【Q】養育費に関する公正証書作成、調停・審判手続の支援について伺います。

【A】利用状況等も調査し、研究を行っていききたいと考えています。

【Q】ひとり親家庭の子育て支援（離婚・養育費・面会交流等）に対する今後の支援体制について伺います。

【A】子ども課内に設置している「子ども家庭総合支援拠点」で相談を受けていますが、専門的

な知識を必要とする場合が多いことから、専門機関へ引き継いでいます。今後も、ひとり親家庭等に対する支援の充実に努めていききたいと考えています。

【Q】貸与奨学金利用者が卒業後Uターンして当市で生活また就労することになった場合の返済優遇（免除を含む）制度について伺います。

【A】返済優遇制度はないので、条例に沿って適切に運用していききたいと考えています。

【Q】沼高・沼女の統合・新校設立に向けた市の関わり、方向などについて伺います。

【A】統合・新校設立に向けて、地元の立場から支援に努めていききたいと考えています。



沼高・沼女統合へのロードマップ

星野 妙子



Q沼高・沼女統合に至るまでの準備と開校に向けた課題と対応について教育長に伺います。

A県立学校の設置者は群馬県です。統合に至るまでの準備は群馬県が行います。開校に向けた課題については聞いておりませんが、課題があれば群馬県が対応していくものと考えます。



沼田高校(上)沼田女子高校(下)



Qコロナ禍を受けて、国全体がデジタル化を掲げ進んでいます。市のデジタル活用と、デジタル人材の育成について伺います。

A着実に市民生活にデジタルによる変革が浸透しています。デジタル技術の利用で、まちの魅力を涵養し、日常生活を豊かにすることが、DXの目的と考え

ています。デジタル人材は実績ある外部人材による育成プログラムを通じて推進を担う職員育成に努めることで、行政内部にとどまらない施策の実現につなげていけると考えています。

Q群馬県指定史跡になった「奈良古墳」の整備と活用について教育長に伺います。

A令和2年2月に県史跡に指定され、13基の古墳が現存しています。「群馬県史跡奈良古墳群保存活用計画策定委員会」を設置し、地元池田地区の皆様と委員として出席していただき、県文化財保護課の助言をいただきながら、保存整備と活用を検討していきたいと考えています。

Q玉原越え道路、その後の現状について伺います。

A本市とみなかみ町を結ぶ幹線道路として、観光開発や災害発生時の緊急避難路としても期待される道路です。玉原道路建設促進期成同盟を組織し、県への要望を継続しています。

人口増のためのまちづくりを

島田 康弘



Q横塚の工場適地について、再生プラスチックの製品への緑り返しの使用等を可能にする企業・工場の誘致による循環経済(サーキュラー・エコノミー)の推進にどの程度取り組まれようと思われているか伺います。

A来年度の群馬県新規産業団地造成候補地の選定を目指し、産業団地整備に向け、今年度は埋蔵文化財の試掘調査を実施します。今後も引き続き、県と連携を図りながら、横塚工場適地への企業誘致が推進できるよう努めていきたいと考えています。

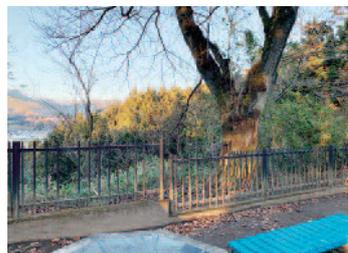
Q今後の利根支所周辺関係資源の活用(観光、ワーケーション活用等)について伺います。

A利根支所周辺には様々な観光資源が点在する中心的役割を担う地域であるとともに、最大の集客地である吹割の滝を有することから、利根支所周辺の地域資源活用とともに、利根支所の敷地等の利活用についても、研究していきたいと考えています。

Q沼田公園下公園周辺の木々伐採について伺います。

A西側斜面の一部は、急傾斜地崩壊危険区域で、かつ足場のない崖地での作業となるため、多くの費用がかかる実情がありますが、沼田公園からの景観は、観光資源として価値があり、見晴らし確保の要望は、これまでも市民から寄せられているため、数年おきですが、園内剪定作業と合わせ、見晴らし確保のための枝切り等を実施してきました。

今後も、技術的に可能な範囲で、経済性、安全性に留意しながら、沼田公園の適正管理に努めていきたいと考えています。



未だ解決されていない下公園からの見晴らしの問題

※その他の質問：高橋場町木田坂周辺の市有林伐採、材木町南部第一公園周辺整備

市政を問う!!

行政調査

報告

沼田市議会では、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、民生福祉常任委員会の概要を掲載します。

民生福祉常任委員会

令和3年11月11日、私立園長会（熊の子保育園・横塚保育園・桜ヶ丘保育園・沼田めぐみ子ども園）と4つのテーマについて意見交換を行いました。

各園からの要望を聞きながら、忌憚のない意見交換ができ、保育現場の実情や子育て環境の理解を深めることができました。

「コロナ禍における保育現場で、保育士をはじめとした職員の皆さんが感染症対策に大変な苦勞をしながら、子どもたちが楽しく通園し、過ごせるような保育園づくり」に努力していることに感謝の言葉を伝えました。

各園からの意見・要望

① 新型コロナウイルス感染対応

保育士のワクチン優先接種に感謝します。また、感染対策に

は細心・最善の努力を継続しています。
感染の早期発見と拡大防止に資する「抗原キット」の配備予算を要望します。

② 保育所職員配置基準

民間保育施設運営費補助金 大切なお子さんたちの安心・安全な保育を継続していく施設としていくためには、実態に見合った十分な補助額と保育士の確保が欠かせません。

③ 5歳児巡回訪問

発達の気になるお子さんたちのために平成30年度から就学前の5歳児教室に専門的知識を有する心理士が訪問して、観察、助言や相談をしていただいています。保護者にも保育士にも有

益・有効な仕組みで、勉強になっています。

④ むまた南保育園民営化

市立保育園のあり方検討委員会の基本方針の一つである沼田南保育園の民営化については、一旦白紙に戻されましたが民間保育園運営とのバランスや公立保育園の役割も含めて見直しをお願いします。



私立園長会との意見交換

次回定例会の日程

次回定例会は、2月22日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

過去の議会だよりを見返すと、令和2年5月号から、毎号編集後記にコロナ、感染症の文字。改めて新型コロナウイルス感染症のインパクトの大きさを感じました。

ワクチン接種が進み、沼田市では8割以上の市民が2回の接種を終えましたが、感染症対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。群馬県にもすでに第6波が押し寄せています。油断せず予防していきましょう。

さて、新成人の皆さん、成人おめでとうございます。
感染予防に努めながら素晴らしい成人式でした。成人式実行委員の皆さん大変お疲れ様でした。

これからの沼田をつくっていくのは皆さんです。大変な状況の中ですが、一緒に頑張りましょう。皆さんの力に期待しています。

委員 戸部 博